

R82[®] 

panther[™]

取扱説明書

輸入代理店

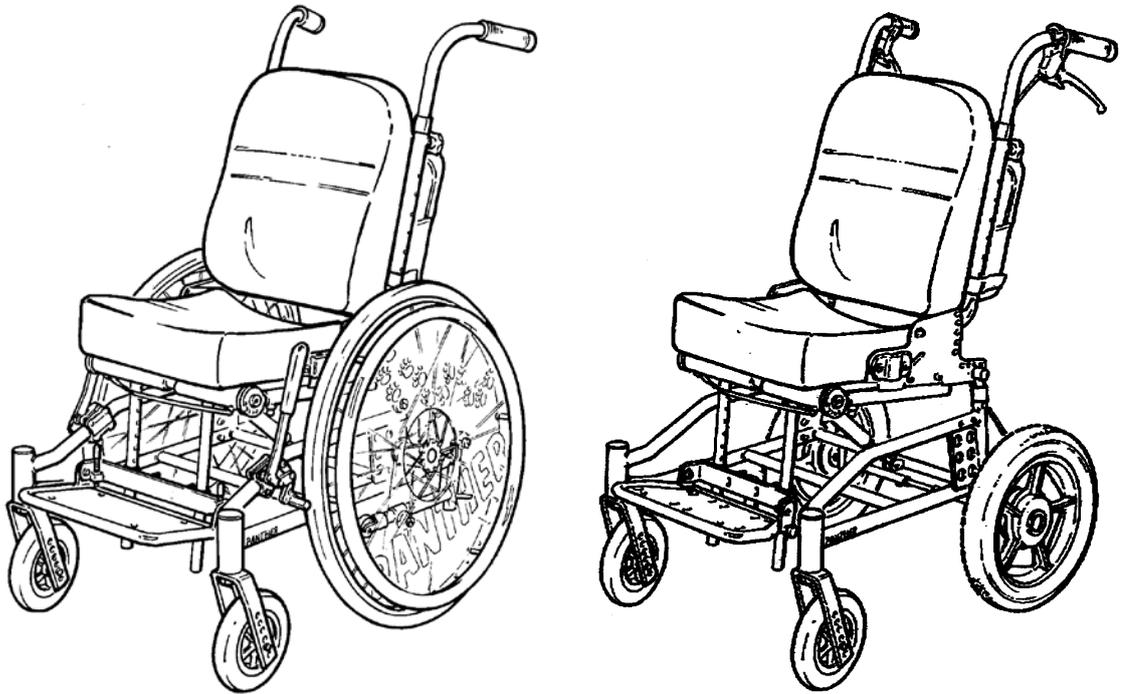
テクノグリーン株式会社

〒 530-0015 大阪市北区中崎西1 丁目4 番22 号 梅田東ビル

TEL (06) 6371-0104 FAX (06) 6371-6400

目次

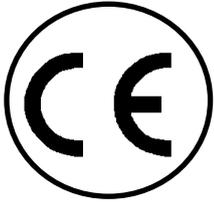
＜はじめに＞	3
＜安全性＞	4
＜付属工具＞	4
＜メンテナンス＞	4
＜保証規定＞	5
＜車椅子の乗り降りについて＞	5
走行についてのご注意（その1）	6
走行についてのご注意（その2）	7
走行についてのご注意（その3）	8
走行についてのご注意（その4）	9
＜クイックリリース＞	10
＜ブレーキ&転倒防止バー＞	11
＜セントラルブレーキ＞	12
＜座面（ティルト）&背もたれリクライニング機構＞	13
＜ガスダンパーの調節＞	14
＜シート調節機構＞	15
＜後輪車輪調節機構＞	16
＜フロント・フォーク＞	17
＜フットレスト＞	18
＜アームレスト&スプラッシュボード＞	19
＜テーブル＞	19
＜内転パット&背もたれ延長部＞	20
＜ヘッドサポート＞	21
＜開閉式ショルダーサポート＞	22
＜開閉式サイドサポート&開閉式ニーサポート＞	23
＜防寒バッグ&レインキャップ＞	24
＜股ベルト＞	25
＜ベスト式ベルト&クロス式ベルト＞	26
＜ドラムブレーキ取付方法（その1）＞	27
＜ドラムブレーキ取付方法（その2）＞	28
＜ドラムブレーキ取付方法（その3）＞	29
＜12インチ後輪車輪取付方法＞	30
＜持ち運び / 保管について＞	32
＜お車での移動（その1）＞	33
＜お車での移動（その2）＞	34
＜公共交通機関での移動＞	35
＜製品識別について＞	36
＜寸法表＞	37
＜テクニカルデータ＞	38
＜製造者＞	38



<はじめに>

この度は、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本製品はR8 2社（デンマーク）の長年にわたる経験によって開発された障害児童向け座位保持機能付車椅子です。本製品はお子様、また介助者の方々にとって最高のパートナーとして、皆様のご期待に添えるものと確信しております。ご使用前に、この取扱説明書を良くお読み頂き、安全かつ本製品の持つ特徴を良く理解してください。また、お読みになった後は必ず大切に保管し、本製品を末永くご使用頂けますようご活用ください。本製品には万全を期しておりますが、万一不良品・ご不審な点がありましたらお買い上げ頂いた代理店にお気軽にご相談ください。尚、品質・性能向上およびその他の事情により部品等の変更で、お手元の製品と本書の内容が一部一致しない場合がありますので、予めご了承ください。



JP <安全性>

本製品は、CEマーク商品です。これは、ヨーロッパの安全規格を満たしていることを、証明しております。

また、本製品はISO-7176/1 9-2 0 0 1、EN12812, EN12183の認証を受けております。

本製品の耐用年数は、日常の基本的なご使用のもとにおいて5年です。今後少しでも長くご愛用頂くために定期的な製品チェックを受けてください。

 本製品を改造、或いはR82社製純正部品以外の部品を使用された場合は、このCEマークを取外してください。

 本製品は一人乗りです。二人以上お乗りにならないでください。

 本製品をご使用の際には、必ず保護者の方が付き添ってください。また大人の方が管理するようにしてください。誤ったご使用方法は、お怪我や事故を引き起こす可能性があります。ご使用前に、製品にベルト等しっかり固定されているか確認してください。

 お子様がお操される場合、転倒防止バーは必ずご使用ください。

 最新の取扱説明書については、下記ホームページでご覧いただけます。www.R82.com

JP <付属工具>

シート背面のクロスバーに工具セットが付属されています。付属内容：レンチ：4, 5, 6 mm スパナ：10 mm、13 mm 本取扱説明書に記載されている調整を行う際は、これらの工具をお使いください。

JP <メンテナンス>

カバーは取外し、40℃のお湯で洗うことができます。品質維持のため、汚れ等をふき取るなどフレームを清潔に保ってください。

タイヤ： 定期的に空気圧を確認してください。
空気圧：110PSI 250kPa

ドラムブレーキ： ドラムブレーキを使用している場合、ブレーキが正しく機能するようワイヤーはしっかり張ってください。

スポーク： スポークの調整は、定期的に販売店にご相談ください。

ガスダンパー： メンテナンスの必要はありません。

 - ガスダンパーには圧をかけたり、高温にさらしたり、穴をあけたりしないでください。
- 時々、開閉部分には潤滑油をさしてください。

JP <保証規定>

フレームは製造上の不良に対して2年間、溶接の不良により発生したメタルフレームの破損に対しては5年間の品質保証がなされています。但し、この取扱説明書に記載されている正しいご使用方法をお守りいただき、（お客様の責任において）定期的なメンテナンスを受けられていることを前提としております。

お客様の過失なく、ご購入いただいた国でのご使用かつ製造番号の確認がとれた場合のみ保証が有効となります。

またこの品質保証は、本製品の構成部品の修理又は交換に限定されるもので、その欠陥に付随して起こる又は結果として起こる損害を担保とするものではありません。これは最初の原購入者に限定されます。万一、この保証に基づいて構成部品に欠陥が発見された時は、弊社の選択によりその部品を修理するか交換するかを決定し、無償にてこれを行います。

この保証はR82社製の純正部品が使用されている場合のみ有効で、認定の受けていない業者による修理等で起きた損害や怪我は保証の対象外です。

弊社は保証同意前に、その製品又は関連する書類を検査する権利を有しております。

<車椅子の乗り降りについて>

Panther への乗り降りにつきましては下記の点にご留意ください。

- 1、お子様がシートにお座りになる前に、必ずブレーキを規定の位置でロックしてください。
- 2、フットレストがシートの下に入る様、角度を調節してください。
- 3、お子様をシートに乗せ、快適にご使用頂けるようフットプレート、アクセサリー類を 調節してください。

走行についてのご注意 (その1)

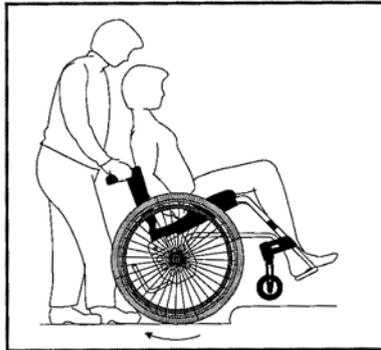
段差を上がる (最大 10 c m)



前方からのアプローチ

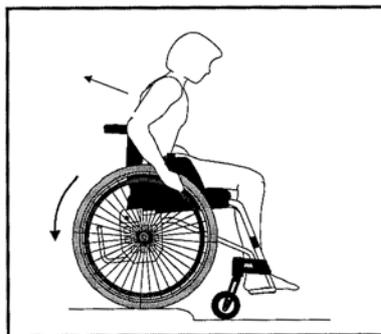
この操作は、ご自分での操作に慣れた方のみ行ってください。

- * 転倒防止バーが解除されているか確認してください。
- * 段差に対して前方に進んでください。
- * 後輪でバランスを保ち、地面から前輪を上げてください。前にかがみ、ハンドリムを持ってしっかり上げてください。



介助者付での前方からのアプローチ

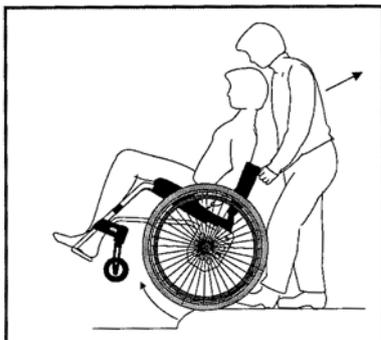
- * 転倒防止バーが解除されているか確認してください。
- * 段差に対して前方に進んでください
- * シートを後方に傾け、前輪を持ち上げて段差を越えてください。
- * 介助用ハンドルを引き上げて後輪を段差の上へ上げてください。



後方からのアプローチ

この操作は必ず低い段差で行ってください。
(フットプレートが緩衝しないかご注意ください)

- * 転倒防止バーが解除されているか確認してください。
- * 段差に対して後方に進んでください。
- * 前にかがみ、ハンドリムを持ってしっかり上げてください。



介助者付での後方からのアプローチ

- * 転倒防止バーが解除されているか確認してください。
- * 段差に対して後方に進んでください。
- * シートを傾け、前輪を持ち上げてください。
- * ハンドルを持ち上げシートを引き寄せてください。段差からシートの距離を離してから前輪を地面につけてください。

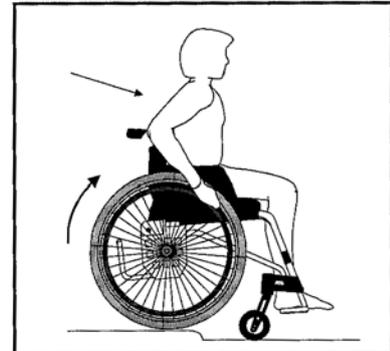
走行についてのご注意 (その2)

段差を降りる (最大 10 cm)

前方からのアプローチ

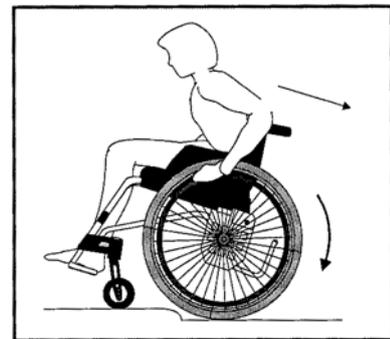
この操作は、ご自分で操作に慣れた方のみ行ってください。

- * 転倒防止バーが解除されているか確認してください。
- * 段差に対して前方に進んでください。
- * ハンドリムを持って前に進めてください。全ての車輪が同時に地面につきます。



介助者付での前方からのアプローチ

- * 転倒防止バーが解除されているか確認してください。
- * 段差に対して前方に進んでください
- * シートを傾け、前輪を持ち上げて段差を越えてください。
- * ゆっくり段差をおりて、安全を確かめて前輪をおろしてください。



後方からのアプローチ

10 cm以上の段差でこの操作は行わないでください。また操作される際は操作に慣れた方のみ行ってください。

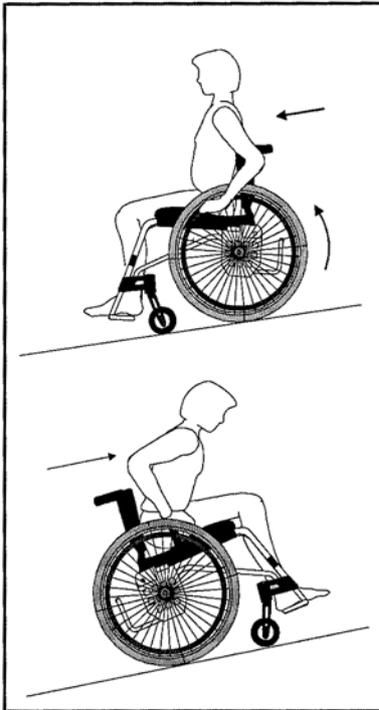
- * 転倒防止バーが解除されているか確認してください。
- * 段差に対して後方に進んでください
- * 前にかがみ、ゆっくりとおろしてください。

! この操作では大きくシートが傾く危険がありますので十分ご注意ください。



介助者付での後方からのアプローチ

- * 転倒防止バーが解除されているか確認してください
- * 段差に対して後方に進んでください
- * ゆっくりと段差を降りて、シートを段差から離してください。
- * 安全を確かめて前輪をおろしてください。



走行についてのご注意 (その3)

坂道の上り下り

坂道の上り下りの際、シートが傾かないよう下記の注意事項をお守りください。

シートに対しまっすぐに座ってください。ハンドリムを持ってスピードを調整してください。尚、その際ブレーキはかけないでください。

前かがみになり、正しい重心位置で操作してください。

 坂道の途中では方向転換しないでください。

 できる限りシートに対してまっすぐに座ってください。

 より安全にご使用頂くために、坂道では介助の方の付き添いで走行されることをお奨め致します。

走行についてのご注意 (その4)

階段を上がる

! 必ず介助の方が行ってください。

! 介助の方がお見えでもエスカレーターには入らないでください。

介助者付での後方からのアプローチ

- * 転倒防止バーが解除されているか、またハンドルがしっかり固定されているか確認してください。
- * 1段目まで後方に進んでください。
- * シートを傾け、同時に1段上げてください。後輪のバランスがとれているか確認してください。
- * 車椅子を階段から離れた場所でおろし、前輪をゆっくり地面につけてください。



階段を降りる

! 必ず介助の方が行ってください。

! 介助の方がお見えでもエスカレーターには入らないでください。

介助者付での前方からのアプローチ

- * 転倒防止バーが解除されていることを確認してください。
- * 車椅子を1段目まで進め、シートを傾けてください。
- * 同時に1段目をおりてください。その際、後輪のバランスがとれているか確認してください。
- * 階段を下りきったら前輪をゆっくり地面につけてください。



! お二人で介助される場合、一人は前方から車椅子を持ち上げると行いやすくなります。

! 介助の方は正しい方法でシートを持ち上げてください。(背もたれ側はしっかり支え、まず足側からゆっくり上げて安全に行ってください)

<クイックリリース>

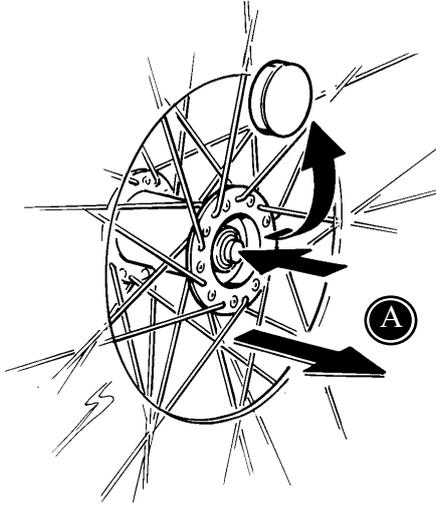
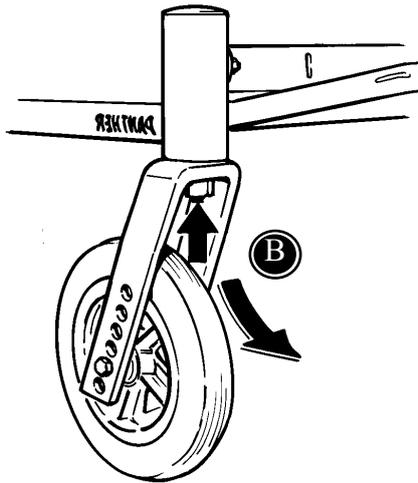


図 (A) : Panther 後輪車輪はクイックリリース機構 (標準装備) によりワン・タッチで車輪が素早く脱着します。車輪中央の脱着ボタンを押しながら車輪の取付け&取外しを行なってください。

図 (B) : Panther 前輪車輪はオプションにてクイックリリース機構を装備することが可能です。図のように、脱着ボタンを押しながら車輪の取付け&取外しを行なってください。お車での移動等の際は、フットレストを跳ね上げ (又は内側に収納)、背もたれを前方に倒すとコンパクトに収納できます。



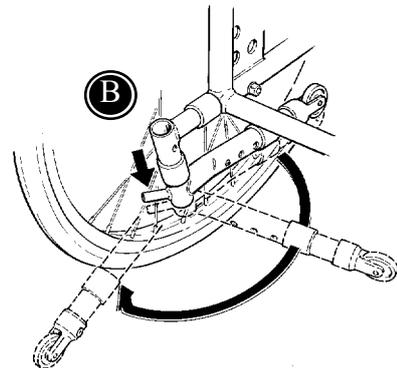
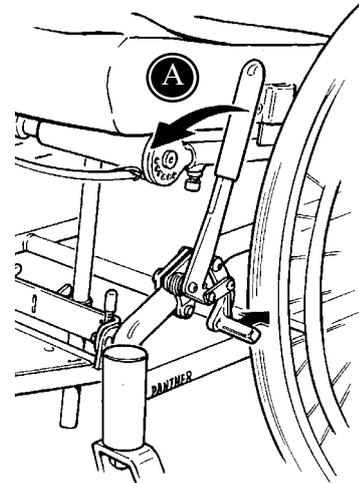
<ブレーキ&転倒防止バー>

図 (A) : ブレーキ・ハンドルを前方に押しと、ブレーキがかかります。

図 (B) : ↓の部分を押しながら、転倒防止バーを180°出し入れすることが可能です。

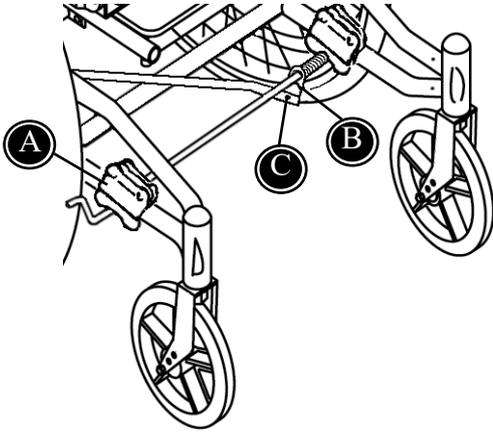


Panther はシートをリクライニングさせた時、重心が後方にかかる為、前輪が浮きやすくなります。安全の為、使用時には必ず転倒防止バーをセッティングしてください。何か当たる時は収納してください。



<セントラルブレーキ>

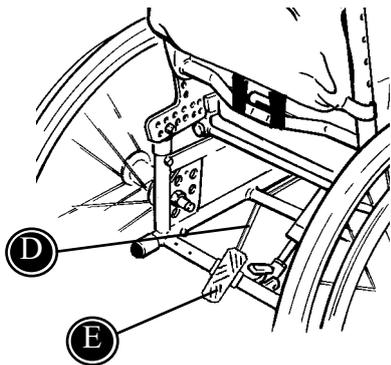
下記の手順に従って、セントラルブレーキを Panther フレームに取付けてください。



* ブレーキバー付部品をフレーム前方 (A) に付属のネジ (4つ) で取付けてください。

* スプリング (B) が取付部品の回りに確実に取付けられているか確認してください。ブレーキバーを数回回して、スプリングを締めてください。

* 付属のネジ (C) でペダル用のバーを取付けてください。



* フレームのクロスバーに対して、ペダル用のバーを引き上げてください。ペダル (E) をフレームにセットし、二つの穴の印をつけてください。その際、ペダル用のバーは垂直にセットしてください。

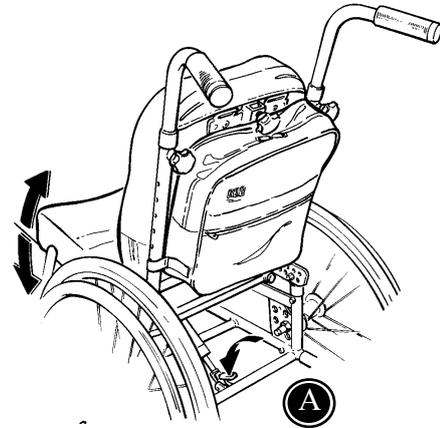
* フレームからペダルを外し、フレームにドリルで2箇所穴をあけてください。(6,5φ) その穴は、バーを通すためのものです。

* ペダルをフレームにセットし、付属のネジでバーを取付けてください。

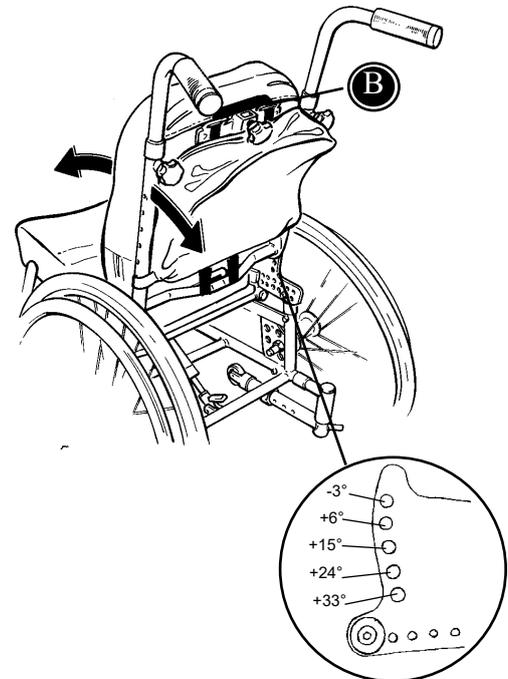
* 部品 (A) を調節して、ブレーキの効き具合を調整してください。

<座面（ティルト） & 背もたれリクライニング機構>

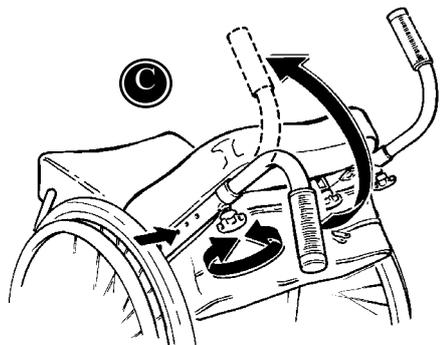
座面（ティルト）リクライニング機構：
座面下部のペダル（A）を踏みながら、
プッシュハンドルを使って座面の角度調節が
可能です。（座面と背もたれの角度が一定のまま
リクライニング）



背もたれリクライニング機構：
背もたれの上部のストラップ（B）を引き上げると
背もたれの角度調節が可能です。（5段階）。
尚、背もたれリクライニング機構は、大転子に近い
ポジションにて角度変更が行なえる為、座位姿勢で
座・背角度（両面角）を広げた場合でも、骨盤の後傾を
防止する構造になっております。



プッシュハンドル：
背もたれリクライニングをした時、介助者の方々が
押し易いようにハンドルの位置を変えることができま
す。
ネジ（C）を緩め、側部のノブを押し、180° ハンドルを
回して再度ノブが出るようにしてください。最後にしっ
かりと
ネジを締めてください。



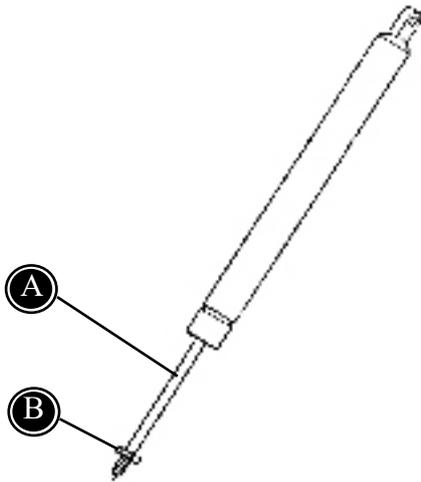
＜ガスダンパーの調節＞

Panther には角度を調節する為に、ガスダンパーが装備されています。ガスダンパーの調整が必要な際は、下記の手順に従って調節を行なってください。

(調整は下記の時にのみ必要です。)

* ガスダンパーが自然に下がってくる。(ティルト角度が自然に下がってくる)

* ガスダンパーが全く動かない。(ティルト角度の調節ができない)



ガスダンパーが自然に下がってくる(ティルト角度が自然に下がってくる)場合:

17mm のスパナでナット (B) を緩め、バイスプライヤー等でピストン棒 (A) を座面側から見て反時計回りに締めてください。再び、ナット (B) を締めてください。

ガスダンパーが全く動かない(ティルト角度の調節ができない)場合:

17mm のスパナでナット (B) を緩め、バイスプライヤー等でピストン棒 (A) を座面側から見て時計回りに締めてください。再び、ナット (B) を締めてください。

上記方法は締めすぎ、緩めすぎにより大きく変わりますので、動きを確認しながら行ってください。

<シート調節機構>

付属の工具で、下記のシート調節することが可能です。

- * シートの全高さ
- * 前後調節
- * ティルト角度の設定変更（前傾・後傾）

調節は右の図を参照してください。

図（A）：シートの全高さ

Panther は予め一番低い位置にセッティングされている為、この取扱説明書では、高さを上げることを前提にしています。

まず両側のネジ（A）を外しシートを上げてください。
調節後、ネジをしっかり締めてください。

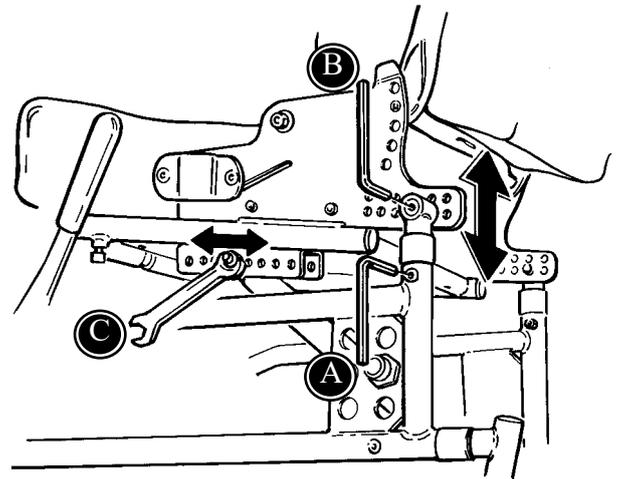
図（B）：シートの全高さ・前後調節

両側のネジ（B）を緩め、シートの高さ・前後を調節することができます。

図（C）：ティルト角度の設定変更（前傾・後傾）

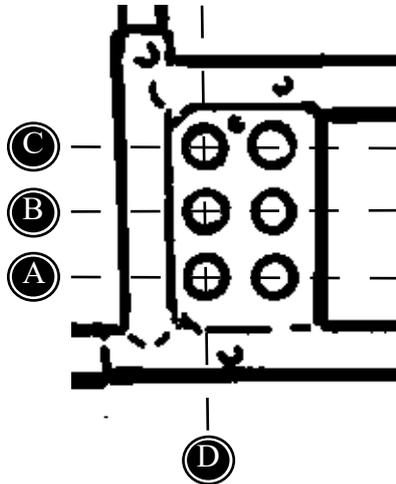
シート下のガスダンパーの取付位置によってティルト角度の設定変更（前傾・後傾）を変えることができます。

ボルト（C）を緩め、穴の位置を調節してください。
より後傾にされる場合、ガスダンパーを後方へセッティングしてください。（前傾の場合は前方へ）



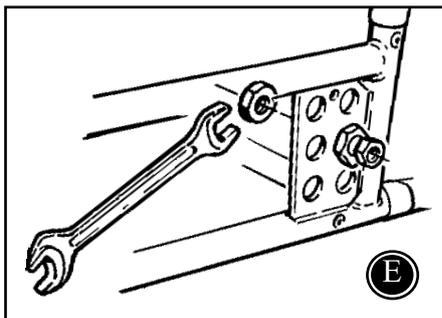
<後輪車輪調節機構>

後輪車輪のポジションを左図に記します。表中にないシートの高さにする場合は、11ページの説明を参考にして調節してください。より安定してご使用頂くには、後列 (D) の穴にセッティングしてください。



! シート高48cm以上では転倒防止バーを延ばしてください。

! 後輪の位置を変更されましたら、28mmスパナでナット (E) を締めてください。



	20"	22"	24"
C	-	-	46 cm (std)
B	-	46 cm (std)	48 cm
A	46 cm (std)	48 cm	-

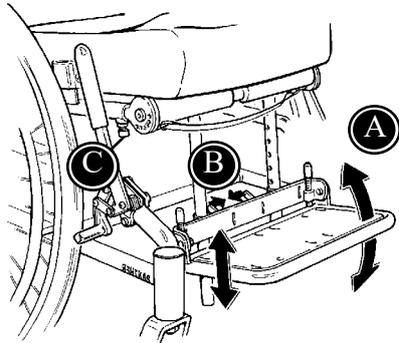
<フロント・フォーク>

右図は後輪車輪位置（11ページ12ページご参照）に応じてのフロントフォークの標準位置です。

 PANTHERの安定性に影響を及ぼすことを避けるために、フロントフォークは、それぞれ標準位置でのご使用をお勧め致します。

SH:46 cm (std)		
 3. 2. 1.	pos 1	140 x 40 mm / 5,5"
	pos 1	150 x 30 mm / 6"
	pos 2	180 x 30 mm / 7"
 6. 5. 4. 3. 2. 1.	pos 1	-
	pos 3	150 x 30 mm / 6" (QR)
 6. 5. 4. 3. 2. 1.	pos 1	-
	pos 2	175 x 40 mm (QR)
	pos 2	180 x 45 mm (QR)
	pos 3	140 x 40 mm / 5,5" (QR)

SH:48 cm (std)		
 3. 2. 1.	pos 1	-
	pos 1	-
	pos 2	-
 6. 5. 4. 3. 2. 1.	pos 1	150 x 30 mm (6" (QR)
	pos 3	-
 6. 5. 4. 3. 2. 1.	pos 1	140 x 40 mm / 5,5 (QR)
	pos 2	-
	pos 2	-
	pos 3	-



<フットレスト>

図 (A) : フットレストの裏側のネジを回すと、フットレストの角度 (足関節) 調節が行なえます。

図 (B) : フットレスト裏側の左右2本のレバーをつまんでフットレストを動かすと、フットレストの高さ調節が行なえます。

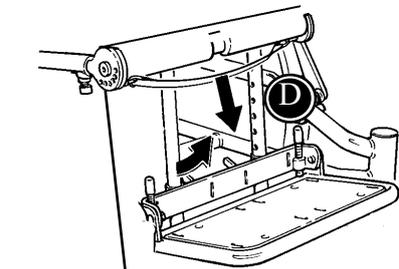


図 (C) : 六角レンチでボルトを緩めることにより、フットレスト全体が前方へスライドします。座面クッションを前に出す場合 (奥行きを伸ばしたい場合)、クッションの支持性の補助となります。

図 (D) : シート前の黒いベルトを手前に引くと、フットレスト全体の角度調整が行なえます。

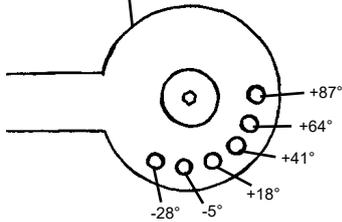
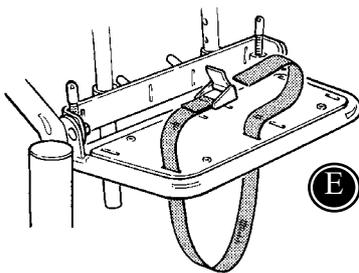


図 (E) : ストラップベルト取付図 (オプション)

! サイズ3のフットレスト全体の角度調整を行なう際には、座面の高さ調整が必要となります。

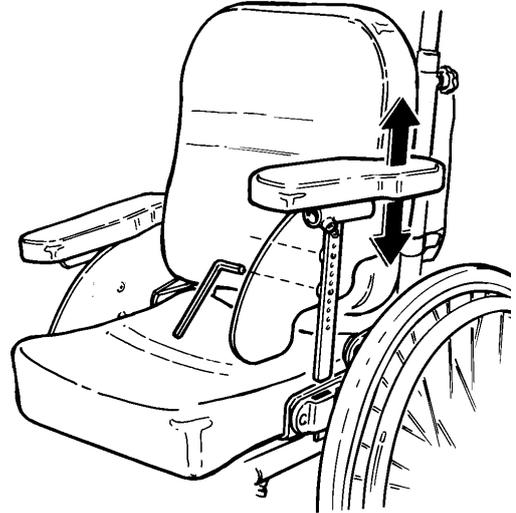


<アームレスト&スプラッシュボード>

取付方法：アームレストは図のようにシートの両側に差込み、取付けてください。

(ボルト等の固定は必要ありません)

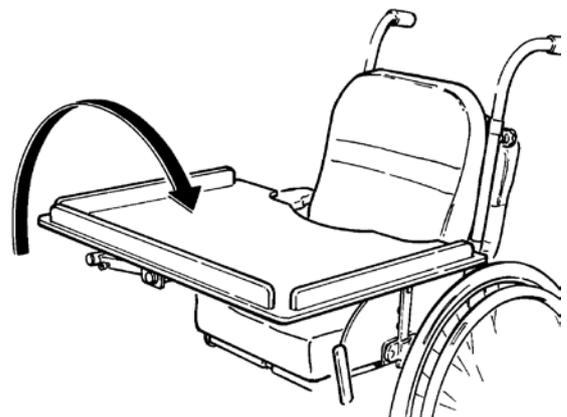
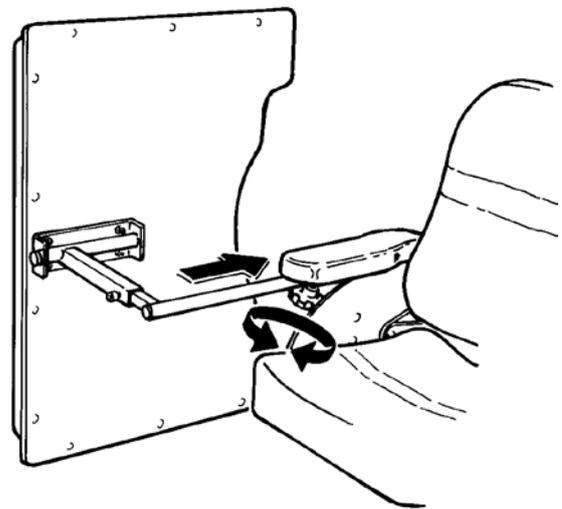
アームレスト高さ調節：スプラッシュボードへの取付位置の変更により、アームレストの高さ調節が可能です。4mmの六角レンチでアームレスト棒とスプラッシュボードの取付位置を変更してください。



<テーブル>

テーブル取付方法：アームレスト下部のパイプにテーブル金具を差し込んでください。6mmの六角レンチを使用し、シート幅に合わせてテーブルの中央を調節してください。

テーブルの高さ調節は、アームレストの高さ調節により可能です。



＜内転パット&背もたれ延長部＞

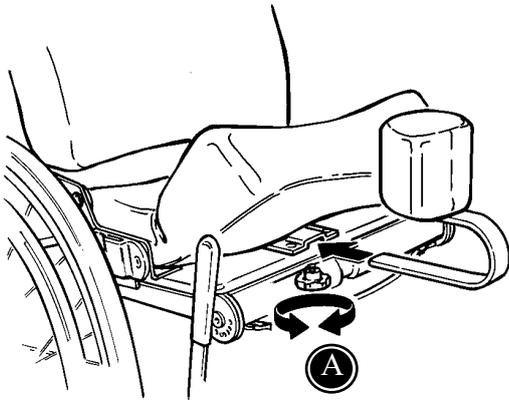


図 (A) : 内転パット取付方法
4 mmの六角レンチで座面クッションの下に取付金具を取付けてください。内転パットを取付金具に差込みネジ (座面下A) で固定してください。

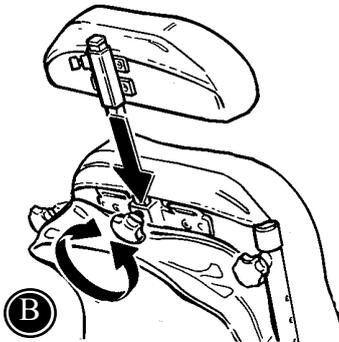
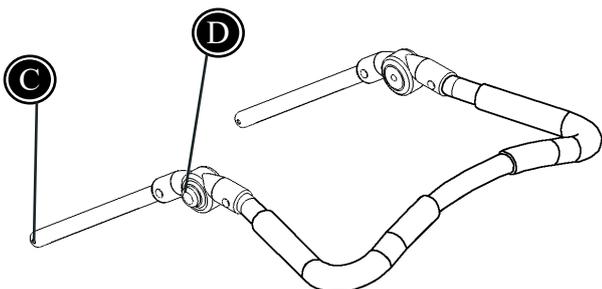
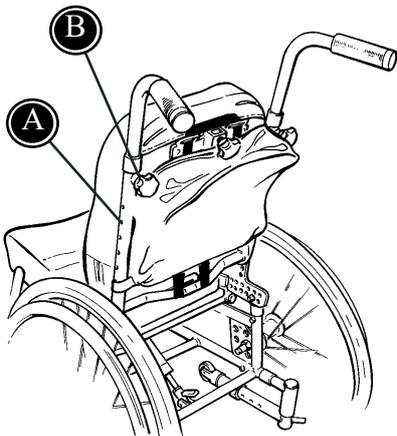


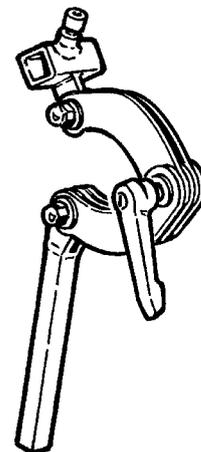
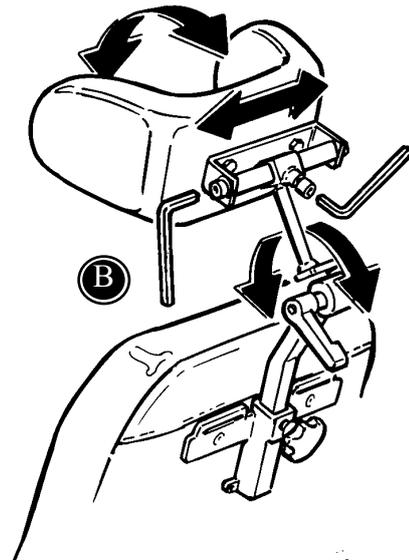
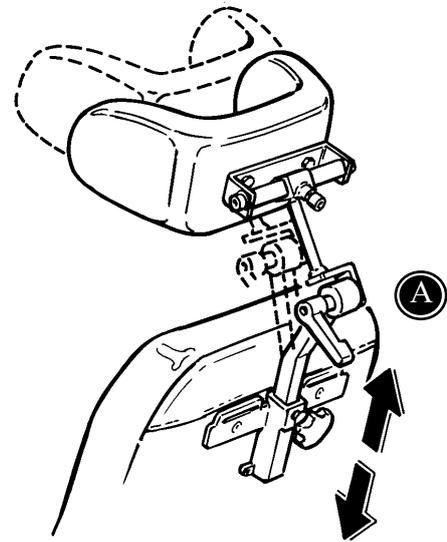
図 (B) : 背もたれ延長部取付方法
背もたれ裏部のヘッドサポート挿入部に、背もたれ延長部を差し込んでください。背もたれ延長部・ヘッドサポート・開閉式ショルダーサポートは同時に取付けることが可能です



<ヘッドサポート>

図 (A) : ヘッドサポート高さ調節
 (ヘッドサポート角度調節式金具使用の場合)
 180° 回転させてヘッドサポートを前方に出すこと
 も可能です。

図 (B) : ヘッドサポート角度&左右調節
 一度に、各種調節ボルトを緩めておくと
 簡単に調節が行なえます。
 お子様に合ったヘッドサポートの位置に設定後、
 改めて各ボルトをしっかり締めてください。



＜開閉式ショルダーサポート＞

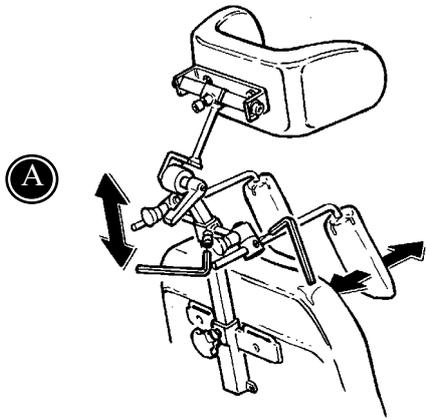


図 (A) : 4 mm、6 mmの六角レンチを使用し、ショルダーサポートの高さ・奥行きを調節してください。

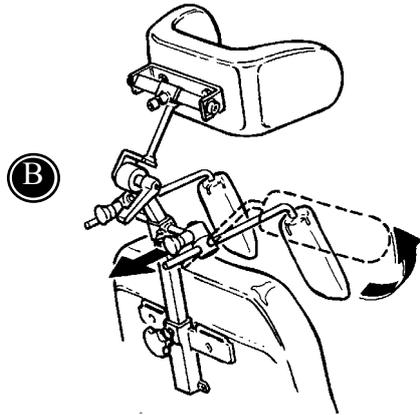


図 (B) : ショルダーサポートを開閉する場合は、図のように黒いノブを引いてください。

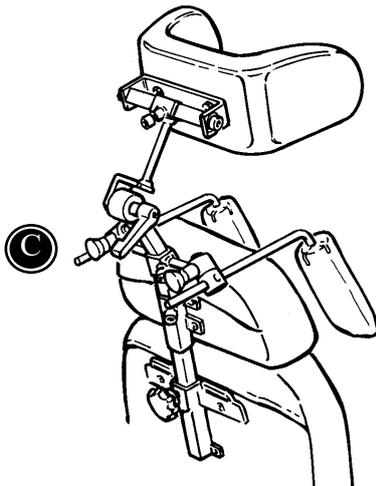


図 (C) : 背もたれ延長部・ヘッドサポート・開閉式ショルダーサポートは同時に取付けることが可能です。(尚、ヘッドサポート・ロング金具に限る)

 時々、開閉部分に潤滑油をさしてください。

＜開閉式サイドサポート&開閉式ニーサポート＞

開閉式サイドサポート取付方法：
開閉式サイドサポートを背もたれの差込み口に
ボルト・ワッシャー・ナットで取付けてください。

図（A）：開閉式サイドサポートは高さ・幅の調節が
行なえます。

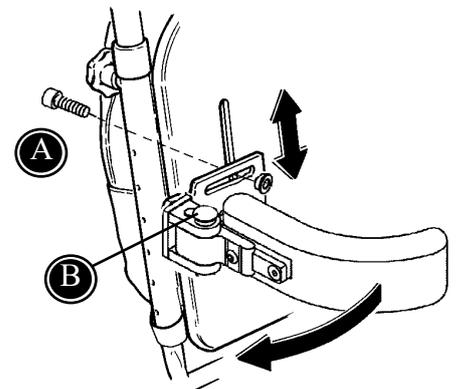
図（B）：赤いボタンを押すとサイドサポートが開きま
す。

開閉式ニーサポート取付方法：

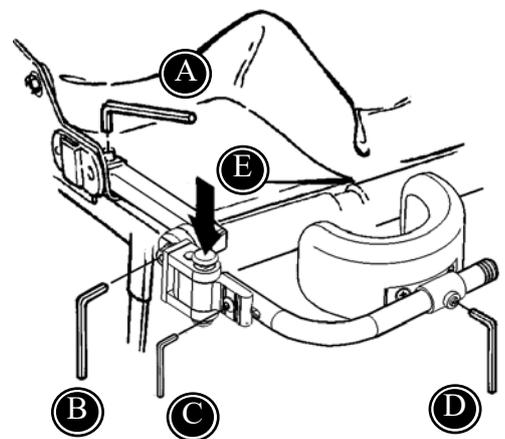
図（C）：座面クッション下に取り付けられている金具に
差し込み、奥行きを調節し6mmの六角レンチで固定し
てください。

図（D）：6mmの六角レンチで角度・左右の調節が行
なえます。

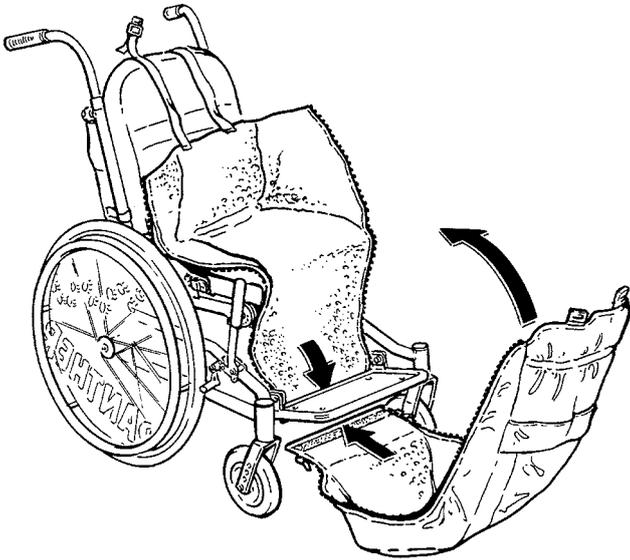
図（E）：赤いボタンを押すとニーサポートが開きま
す。



 時々、開閉部分に潤滑油をさしてください。



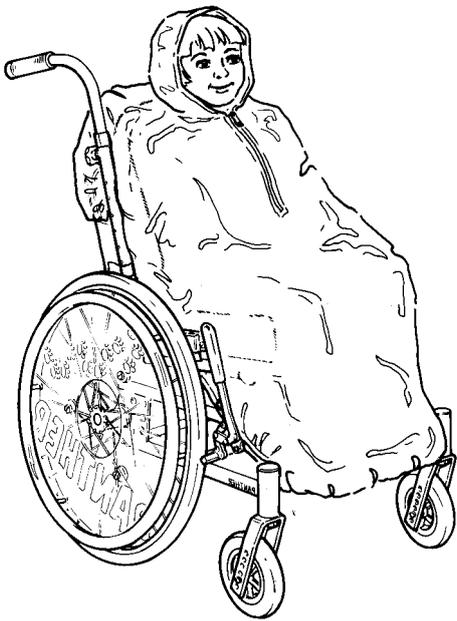
<防寒バッグ&レインキャップ>



防寒バッグ取付方法：防寒バッグを開け、シートに置きます。お子様を乗せ、チャックを閉めてください。最後に肩ベルト（紐）にてバックル留めを行なってください。

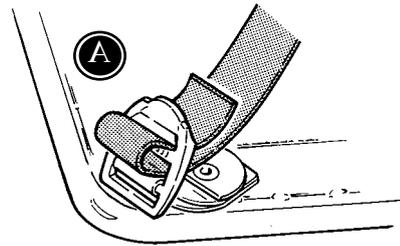
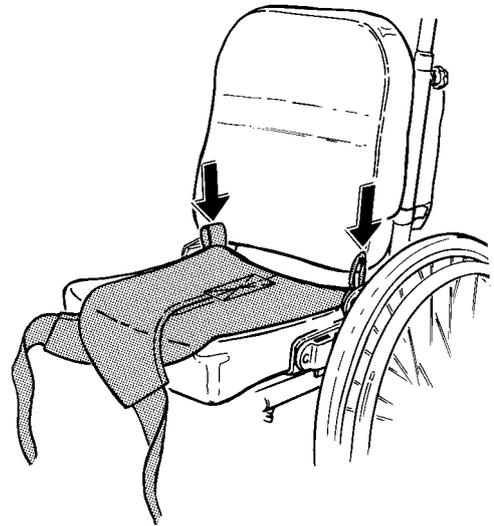
防寒バッグは足の部分にマジックテープがありますので、買い物の際など、上部を取り外してお使い頂けます。

レインキャップ取付方法：フットレスト・背もたれ・リュックサック・アームレストにレインキャップをかぶせてください。



<股ベルト>

股ベルトをシート上に平らに置きます。
下部ベルト（紐）を座面部のバックル図（A）に
止めてください。お子様を乗せ、左右のベルト（紐）
を
背もたれ裏でバックルにて固定してください。



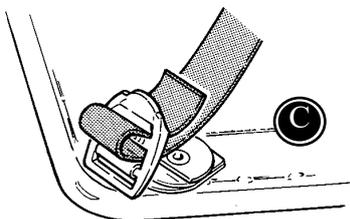
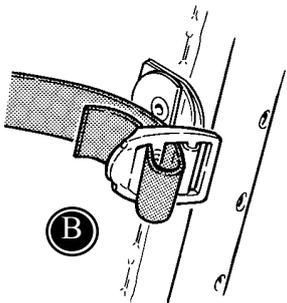
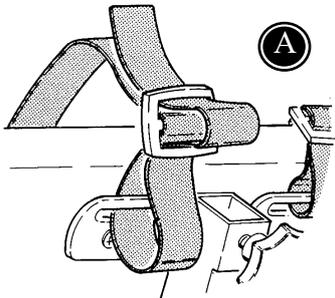
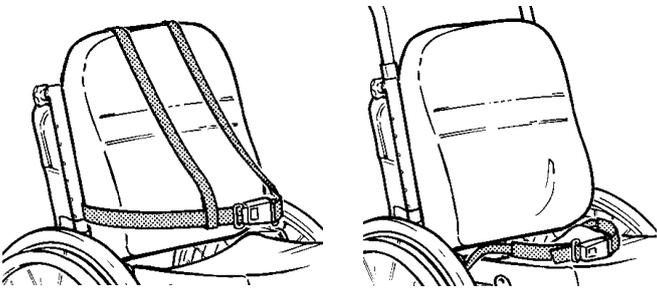
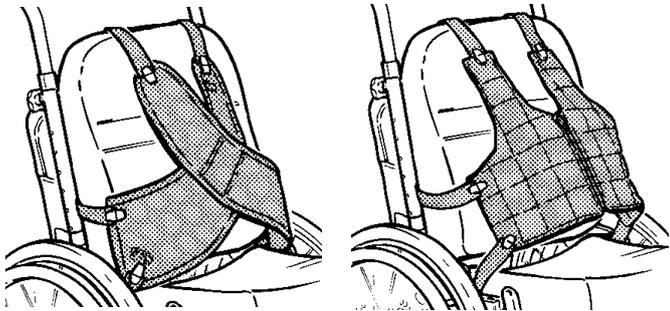
<ベスト式ベルト&クロス式ベルト>

図(A) : 左右肩ベルト(紐)を背もたれ裏にてバックルで固定してください。

図(B) : 背もたれクッションの裏で左右ベルト(紐)をバックルで固定してください。

図(C) : 座面クッションの下で左右ベルト(紐)をバックルで固定してください。

ベスト式ベルトもクロス式ベルトも、ベルト(紐)が簡単にベルト本体から外すことができる為、毎回ベルト(紐)を緩める必要はありません。

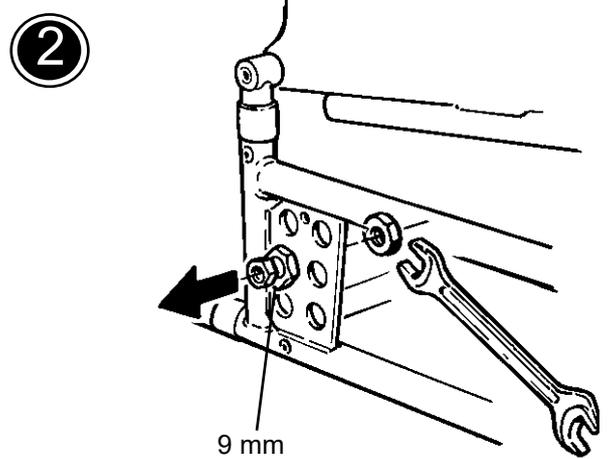
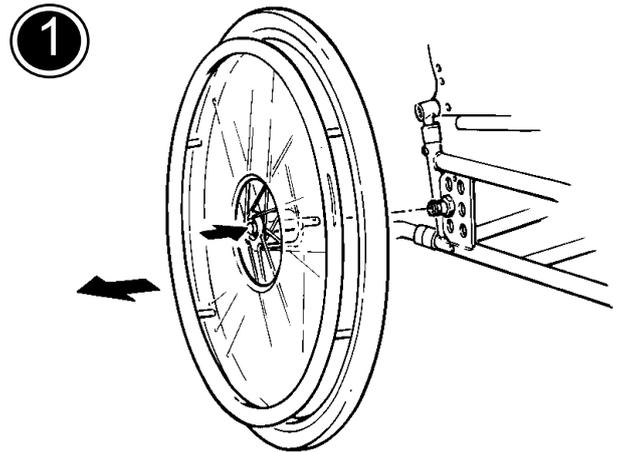


<ドラムブレーキ取付方法（その1）>

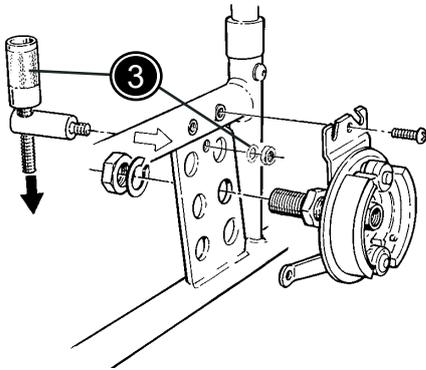
図（1）：ご使用中のPanther 後輪車輪を外してください。

図（2）：24mm スパナを使用し、クイックリリース軸を取外してください。

備考：クイックリリース軸を他の穴に変更する時は、プレート外側から約9mm 軸が出るように設定してください。（図2）内側のナットを締める時、余り強く締め付けると後輪車輪の脱着がスムーズに行なえなくなる恐れがありますので、注意してください。



①

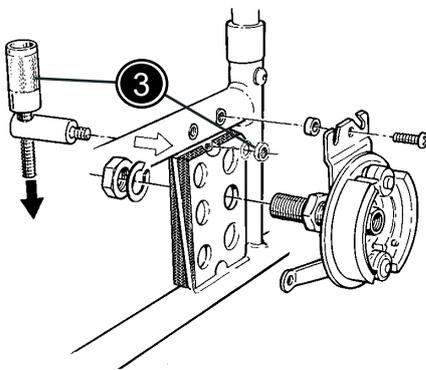


< ドラムブレーキ取付方法 (その2) >

ドラムブレーキパッドを取付けるにあたり、後輪車輪のキャンバー角を確認してください。
 (日本で販売されているPanther は後輪車輪にはキャンバー角有り。Panda 車椅子フレームは後輪車輪にはキャンバー角無し。)

図(1) : キャンバー角有りの場合 (Panther)
 ドラムブレーキパッドを図(1)のように取付けてください。尚、取付ボルト・ワイヤーホルダー等がスムーズに本体プレートに取付けられない時は、タップ等で一度ネジを切ってから取付けを行なってください。
 (塗料が流れ込んでいる可能性があります)

②



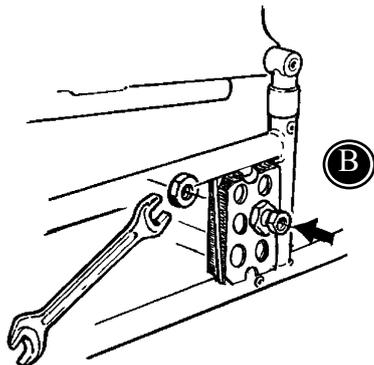
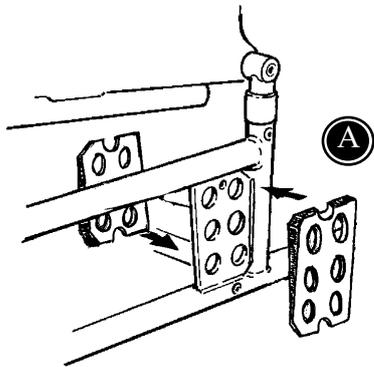
図(2) : キャンバー角無しの場合 (Panda 車椅子フレーム) 取付方法はキャンバー角有りの場合と同じですが、

図(2)のようにパイプとの間に付属のスペーサーを挟んで取付けて下さい。

ワイヤーホルダーはプレートが一番上の穴に取付け(3)、ワッシャーとナットで固定してください。

キャンバー角度0° 設定 :

図(A)のように、ウェッジプレート(両側より)を挟み、クイックリリース軸(B) (ドラムブレーキをご使用の場合はドラムブレーキパッド)を固定してください。
 (図2参照)



<ドラムブレーキ取付方法 (その3) >

図 (A)、(B)、(C) :
ワイヤーをハンドブレーキセットに通し、プッシュハンドルに取付けてください。図 (A)、

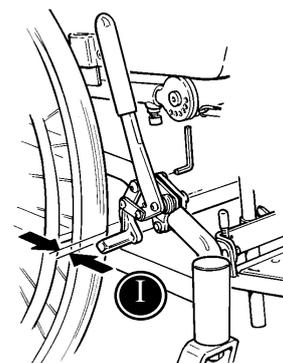
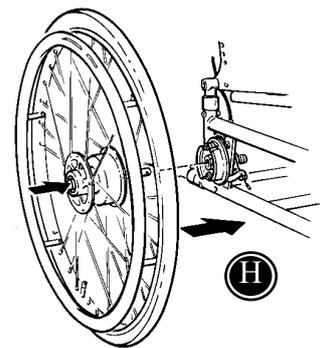
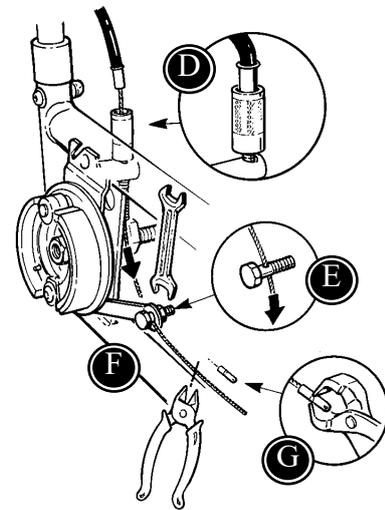
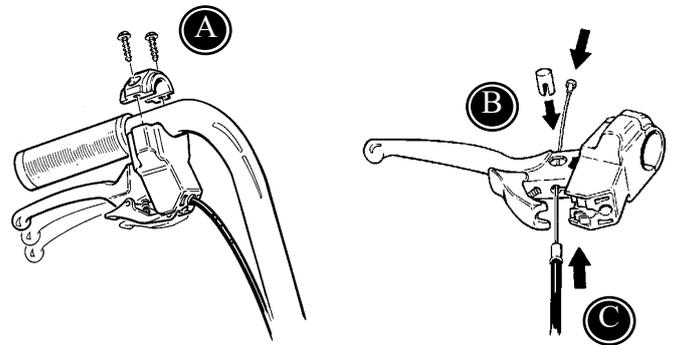
図 (B)。ワイヤーをワイヤーカバーに通してください。図 (C)

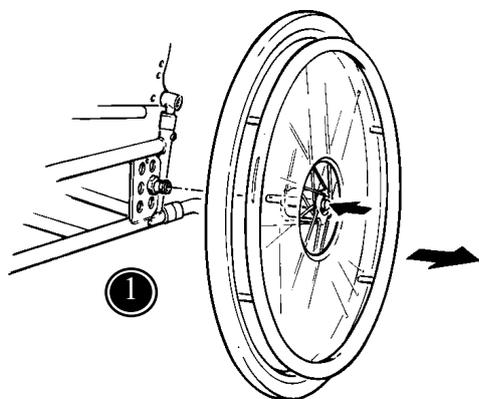
図 (D)、(E) :
ワイヤーをワイヤーホルダーに通し、ネジにある通し穴に通してください。図 (D)、(E)

図 (F)、(G) :
ネジをブレーキレバーに通し、8mmスパナを使用しナットで固定してください。図 (F)。余ったワイヤーはカットし、先にカバーを被せてください。図 (G)

図 (H) :
ドラム付後輪車輪を取付けてください。

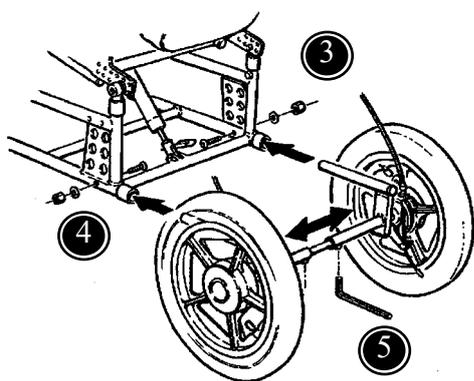
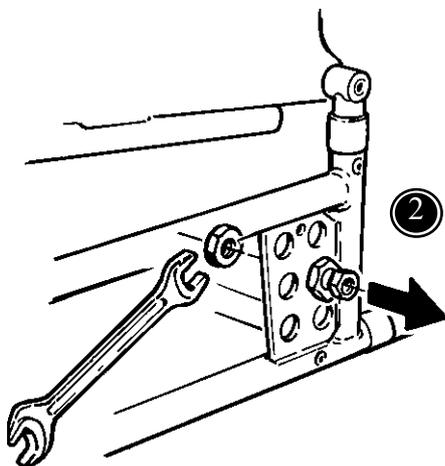
図 (I) :
ハンドブレーキと後輪車輪の間隔は約5mmで設定してください。





< 12インチ後輪車輪取付方法 >

- 1、後輪車輪を取外します。
- 2、24mmスパナを使用し、クイックリリース軸を取外してください。
- 3、両側の転倒防止バーを取外してください。
- 4、後方から12インチ車輪を取付け、転倒防止バーを固定していたネジで固定してください。
- 5、4mmスパナでネジを緩め、後輪車輪間の幅を調節し、ネジを締めてください。



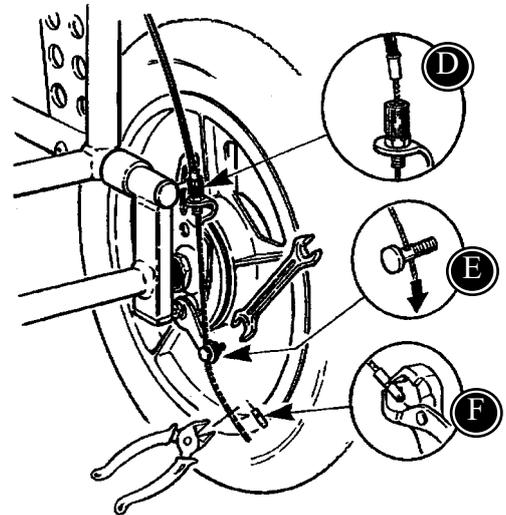
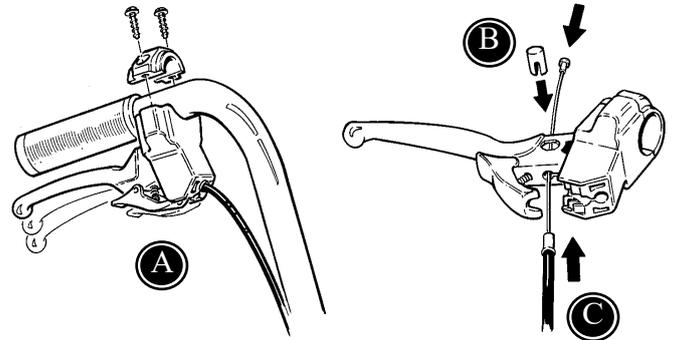
<ハンドブレーキ / ワイヤー取付方法>

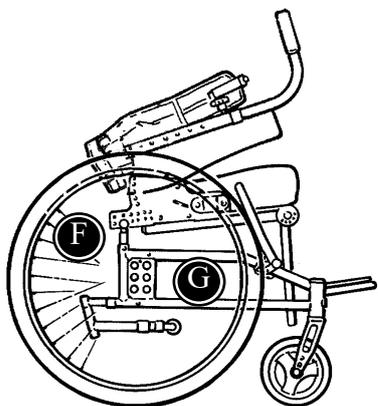
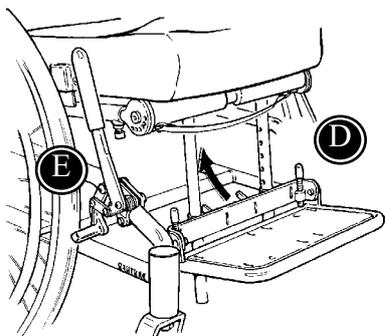
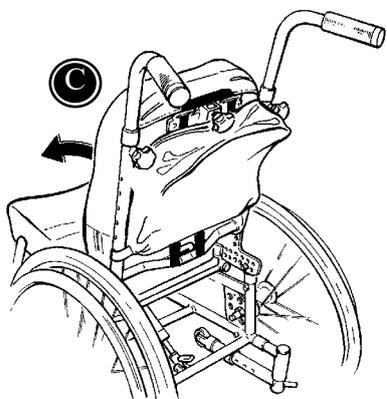
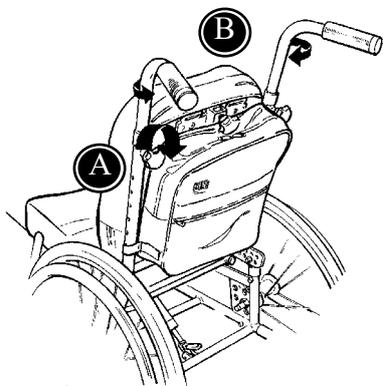
図 (A)、(B)、(C) :
ワイヤーをハンドブレーキセットに通し、プッシュハンドルに取付けてください。図 (A)、

図 (B)。ワイヤーをワイヤーカバーに通してください。図 (C)

図 (D)、(E) :
ワイヤーをワイヤーホルダーに通し、ネジにある通し穴に通してください。図 (D)、(E)

図 (F) :
ネジをブレーキレバーに通し、8 mm スパナを使用しナットで固定してください。余ったワイヤーはカットし、先にカバーを被せてください。図 (F)





<持ち運び / 保管について>

Panther は持ち運び・保管の際には、折り畳みが可能です。

A、ハンドルの固定ネジを緩めてください。

B、ハンドルを内側に回してください。

C、背もたれを前方に倒してください。

D、フットレストを座面下に収納してください。

E、ブレーキを解除してください。

F、後輪車輪を取外してください。

G、フレームのまわりをしっかりと握って安全に持ち上げてください。

<お車での移動（その1）>

ベルトの機能を妨げない為に、アームレストや車輪等のアクセサリーに緩衝しないようにしてください。

Panther はお子様が車椅子に乗った状態のまま車で移動することが可能です。その際は前方に向けた状態でセットしてください。

下記の点をお読み頂き、安全にご使用ください。

 できる限りお車のシートに乗せた状態で移動されることをお勧めします。その際はシートベルトでしっかり固定してください。

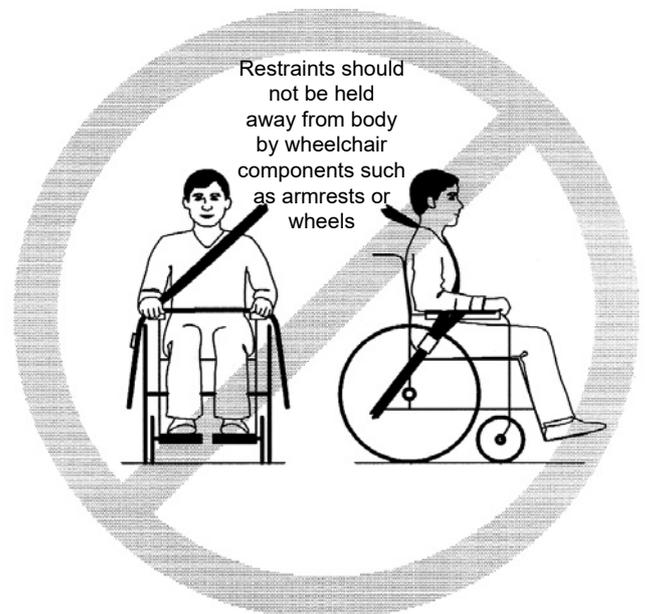
 Panther はANSI/RESNA WC/Vol. 1 – 1998, section 6.4.1, litra c. に準じた力学的な試験を受けています。

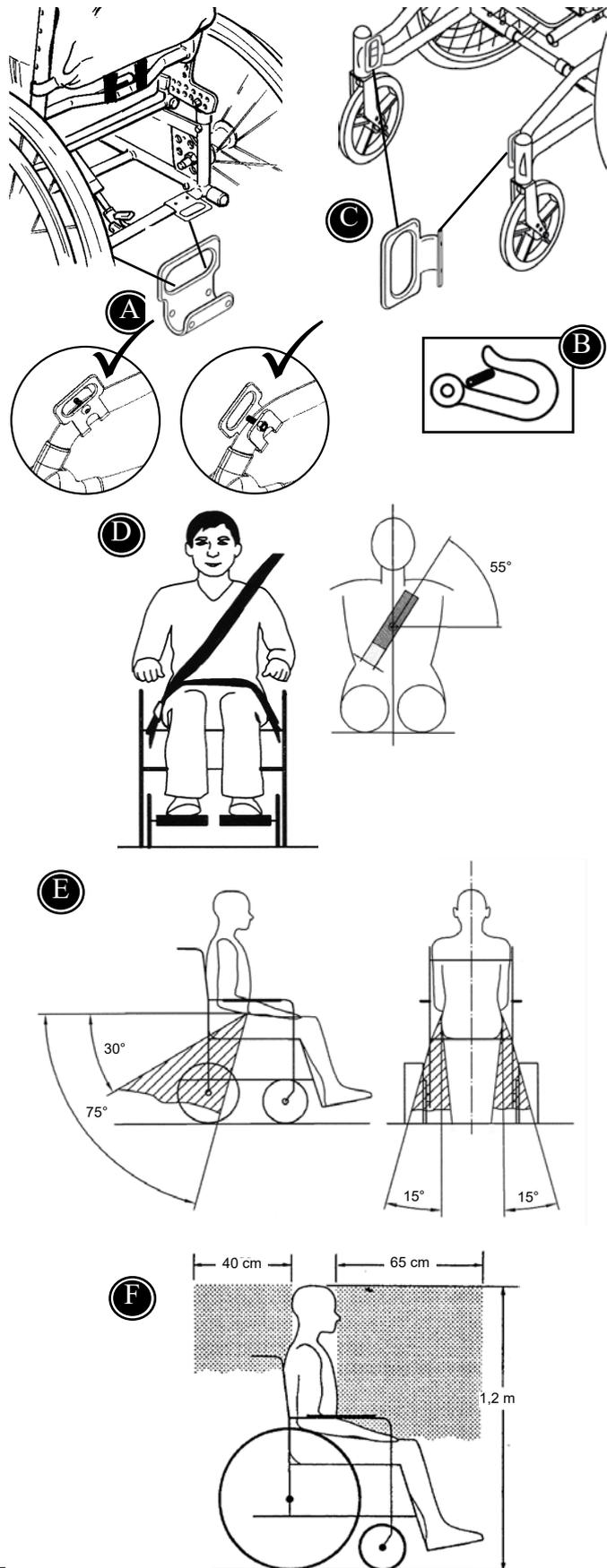
 Pantherにお子様を乗せたままで移動する、前方に向けた状態でセットしてください。その際、4点式ストラップタイプ固定システムをご使用ください。際は

 3点式シートベルトをご使用ください。その際、ベルトの機能を妨げない為に、アームレストや車輪等のアクセサリーに緩衝しないようにしてください。

 全てのアクセサリーは車椅子から外して別々に車に乗せてください。取外せないアクセサリーがある場合は、衝撃を吸収できるパット等をお子様とアクセサリーの間に置き、安全に注意してください。

 自動車の衝突事故に遭った後に再び車椅子を使用する場合は、販売店から製品チェックを受けてください。





<お車での移動（その2）>

1、Panther を安全に乗せて頂く為に：
* 4点式ストラップタイプ固定システムを取付けてください。（手順書参照）

* 取付金具（A）を2個、（B）の向きで後部を取付けて下さい。

* 取付金具（C）を2個、（B）の向きで前部を取付けて下さい。

* 4点式ストラップタイプ固定システムを取付け、Panther を安全に乗せてください。取付金具（A）、（C）にはフック又はストラップを通してご使用ください。

! ISO 規格 10542-2 認証の 4点式ストラップタイプ固定システムをご使用ください。

2、安全にご使用頂く為に：

* 図（D）のように3点式ベルトをご使用ください。

* 3点式ベルトの角度は図（E）の角度でご使用ください。

* ベルトはお子様の快適性を損なわない程度に、できるだけしっかり調節してください。また、ご使用中にベルトがねじれないようにしてください。

* 座背角は90°にし、後方に3°倒した角度をお勧めいたします。

! ISO 規格 10542-1 認証の3点式ベルトをご使用ください。

3、移動

* 移動する前には全てのアクセサリを車椅子から外してください。

* お子様を前向きに座らせてください。

* お車での移動の際、耐荷重は静止状態で最大50kgです。（他の積載物含む）

! お車の中で移動される場合は、推奨された安全ゾーン（F）を確保してください。

＜公共交通機関での移動＞

法令2001/85/EG Annex VII, item 3.8.3に準じた、車いす乗車スペースマークのある、車いすの前向き乗車の認められた乗り物をご利用ください。

この移動方法をご利用される場合、お子様・介助者の方は、激しい揺れにご注意いただき、移動期間の間、安全な座席位置を確保してください。

乗り物のスピードや方向の変化に対して、装備されている握り器具をつかめないほどお子様を制限しないでください。

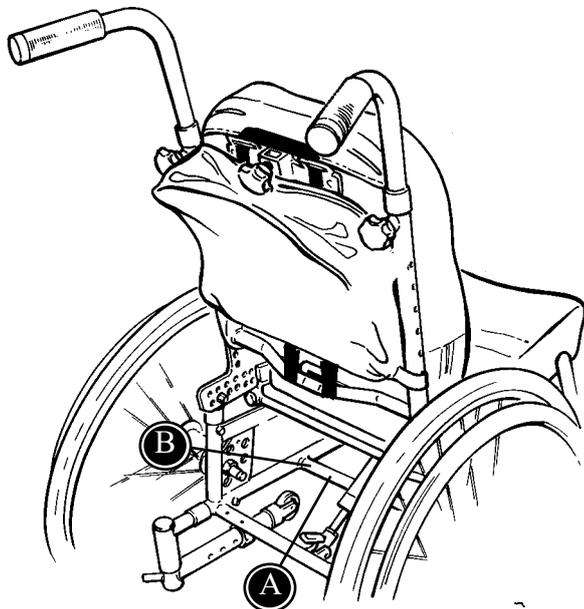
上記とは別に、安全にご使用いただくために、以下の点を確認してください。

- 背もたれの高さはお子様の肩の位置に対し、水平又はそれ以上にしてください。
- ネック/ヘッドサポートは適切な位置にセットしてください。
- ブレーキをかけてください。
- 転倒防止は低い位置にセットしてください。

<製品識別について>

A) シリアル番号：
シート下のラベルをご覧ください。

B) 製造者：
シート下のラベルをご覧ください。

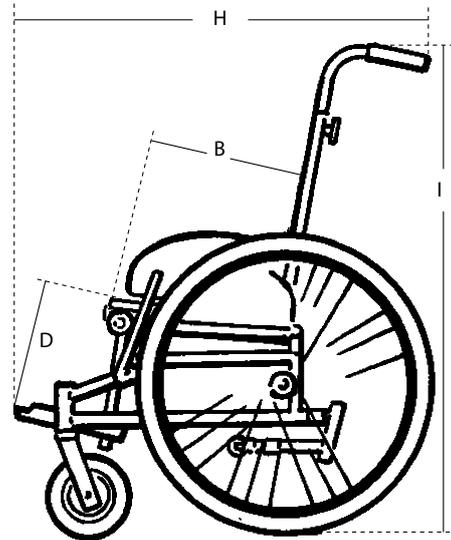
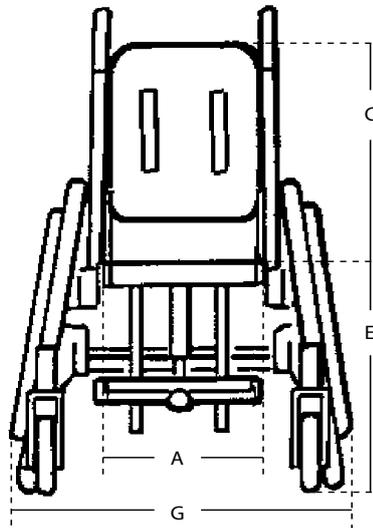


A



B





< 寸法表 >

	サイズ 1 mm (inch)	サイズ 2 mm (inch)	サイズ 3 mm (inch)	サイズ 4 mm (inch)
座面幅 (A)	280 (11")	320 (12½")	360 (14")	400 (16")
座面奥行き (B)	200-290 (8-11½")	260-350 (10-13½")	300-390 (12-15¼")	300-390 (12-15¼")
背もたれ高さ (C)	380 (15")	400 (16")	440 (18")	440 (18")
フットプレート下げ幅 (D)	140-350 (5½-13½")	140-350 (5½-13½")	160-400 (6-15½")	160-400 (6-15½")
座面までの高さ * (E)	460-520 (18-20¼")	460-520 (18-20¼")	460-52 (18-20¼")	460-520 (18-20¼")
全幅	590 (23")	620 (24")	670 (26")	700 (27½")
全長	840 (32")	920 (36")	1100 (39")	1200 (47")
全高さ	955-1100 (37-43")	955-1100 (37-43")	955-1100 (37-43")	955-1100 (37-43")
重量	16 kg (35 lb)	16 kg (35 lb)	17,5 kg (38,5 lb)	22 kg (48,5 lb)
耐荷重	60 kg (132 lb)	60 kg (132 lb)	70 kg (154 lb)	70 kg (154 lb)
耐荷重 (乗物での移動時)	57 kg (125,5 lb)			

* シート角度、後輪車輪の取り付け位置によって異なります。

後輪車輪を外して折り畳んだ状態:

全幅	470 (18¼")	500 (19½")	540 (21")	580 (22½")
全長	750 (29¼")	750 (29¼")	750 (29¼")	750 (29¼")
全高さ	360 (14")	360 (14")	360 (14")	360 (14")
重量	11,7 kg (25,7 lb)	12,1 kg (26,6 lb)	13,3 kg (29,3 lb)	14,3 kg (31,5 lb)

角度:	フットサポートバー	-28° - +87°
	バックレスト	-2° - +35°
	座面	-9° - +35°

<テクニカルデータ>

フレーム：ポリエステルコーティングスチール37

プラスチックパーツ：30%ガラス繊維入ポリプロピレン

クッション：失禁防止カバー付耐炎性ウレタン

カバー：難燃ポリエステル（40℃で洗濯可能）

<製造者>

R82 A/S
Parallevej 3
8751 Gedved
Denmark

